



▲南丹職人発見マップ

間の高橋さんと13人のメンバーと共に取り組んでいただきました。昨年10月から取材を始め、インタビュー、作品の撮影など何度も足を運び、そして冊子のレイアウトや地図の表示方法など、マップ会議は何度も何度も重ねられました。

完成した「南丹職人発見マップ」は、南丹工芸文化祭の作品展示会場で来場者に無料配布しました。受け取った方の中には、マップを手に、展示されている工芸作品とマップを照らし合わせながら、じっくりと鑑賞に浸る姿がありました。来場者アンケートでも、『カラーで職人の写真が入っ

ていて見やすい』、『学生さんの編集の質の高さに感心』、『このマップを見て、工房へ行ってみたい』という感想がありました。

今後、南丹市のホームページからも閲覧できるように掲載をする予定で進めています。冊子を希望される方は市役所企画推進課（TEL 0771-68-0003）へお問い合わせください。

南丹市から全国へ発信 「ものづくり」のまち

平成23年、

京都で第26回国民文化祭開催
国民文化祭は、国内最大の文化・芸術の祭典で、昭和61年から毎年、各都道府県持ち回りで開催されています。再来年の秋には、京都が開催地となり、府内の市町村を会場にさまざまな催しが行われます。

今年の2月1日は、この国民文化祭開催のちょうど1,000日前にあたり、府内各地でカウントダウンイベントが開催されました。この平成23年の開催に向けて、わがまちでも、南丹市ならではの取り組みを展開し、「ものづくり文化」の魅力をアピールし、盛り上げていきます。

◇京都伝統工芸職人展

今年4月1日から26日には、京都伝統工芸職人展「用の美の空間2009」京都南丹地域にとけこむ工芸品」を、美山かやぶき美術館と郷土資料館で開催（NPO法人「京都匠塾」・南丹市主催）します。南丹地域ゆかりの職人による伝統工芸品の展示・販売、そして若手職人による竹工芸、木工芸の技の実演（土日のみ）が行われます。

◇伝統的工芸品月間国民会議全国大会・京都大会

今秋には、第26回伝統的工芸品月間国民会議全国大会・京都大会が南丹市を会場に開催されることにあわせて、南丹市独自のさまざまな特色あるイベントを開催する予定で企画を進めています。

◇南丹工芸文化祭

ホップ、ステップ、ジャンプで、この南丹工芸文化祭も回を重ねるごとにますます内容を充実させていきます。今回の南丹工芸文化祭では、次回の開催も楽しみにしているという声をたくさん受け取りました。また、時間の都合で体験コーナーに参加できなくて残念だった、会場のレイアウトが分かりにくかったという意見もいただきました。皆さんの意見を参考に

にしながら、より良いイベントにしていきたいです。

◇国民文化祭

昨年の徳島県での開催では、延べ約77万人の観客が会場を訪れました。今年の秋には静岡県で、来年は岡山県で開催されます。そして第26回は、ここ京都府で！伝統と創造性あふれる豊かな文化を生み出してきた京都で、日本文化の良さを見つめ直し、来るべき時代を生き抜いていく知恵と新たなライフスタイルを創造していかうとの思いを込めて「ここをを整える」文化発心（ほっしん）をテーマにしています。

国民文化祭では、全国から参加者や観客が京都へ集まってきました。出演するもよし、作品を応募するもよし、鑑賞して文化に浸るもよし。誰でも、さまざまな形で参加することができます。

これから南丹市でも、準備を進めていきます。市民の皆さんにもどんどんとアイデアを提案していただきたいと思っています。

どこにも負けないという誇りを持って、わがまちの「ものづくり文化」を全国に発信していきましょう！

成功させよう！

平成23年国民文化祭 京都開催